

授業科目名： 初等教科教育法(国語)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 嶋田 優 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)	小学校教諭、指導主事としての勤務経験を持つ教員が、国語科における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。		
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） ・国語（書写を含む。）		
「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 ・ 確かな学力を身に付ける国語科学習指導法の確立 ・ 子どもの認識や思考及び学力等の実態を視野に入れた国語科授業の重要性を理解する。 ・ 国語科学習指導案の構造を理解し、具体的な授業を想定した授業設計を行い、学習指導案を作成することができる。 ・ 模擬授業や指導案検討を通して、授業改善の視点を身に付ける。 ・ 主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)を重視した授業やICTを効果的に用いた授業についての理解を深め、実践に活かしていくことができる。			
授業の概要 (1) 国語科学習指導要領改訂の趣旨及び要点についての考え方を理解する。 (2) 学習指導要領の教科目標や内容に、「国語科改訂の要点」の考え方がどのように示されているかを理解し、その指導法を修得する。 (3) 教材研究や学習指導案の作成や模擬授業を通して、実践的な知識や指導技術を修得する。			
授業計画 第1回：国語科の改訂の趣旨及び要点について 学習指導要領の全体構造を理解する 第2回：国語科の目標と学年目標について 学習内容と指導上の留意点を理解する 主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)やICT活用の趣旨について理解する。 第3回：言語活動の充実と指導法 (1)「話すこと・聞くこと」の領域 ※授業設計の基本にふれる 第4回：言語活動の充実と指導法 (2)「書くこと」の領域 ※授業設計の基本にふれる 第5回：言語活動の充実と指導法 (3)「読むこと」の領域 ※授業設計の基本にふれる 第6回：学習事項の系統性と指導法 (1)「話すこと・聞くこと」の領域 学習指導案の構成を理解し、指導案を作成する 第7回：学習事項の系統性と指導法 (2)「書くこと」の領域 学習指導案の構成を理解し、指導案を作成する 第8回：学習事項の系統性と指導法 (3)「読むこと」の領域 学習指導案の構成を理解し、指導案を作成する 第9回：学習過程の明確化と指導法 (1)「話すこと・聞くこと」の領域 学習指導の工夫改善の具体例に学ぶ 第10回：学習過程の明確化と指導法 (2)「書くこと」の領域 学習指導の工夫改善の具体例に学ぶ 第11回：学習過程の明確化と指導法 (3)「読むこと」の領域 学習指導の工夫改善の具体例に学ぶ 第12回：我が国の言語文化に関する事項と国語の特質に関する事項の指導法 学習指導の工夫改善の具体例に学ぶ 第13回：指導計画の作成と内容の取扱い 国語科の指導計画の作成に向けての基本を学ぶ 第14回：教材研究の方法 領域ごとの特徴にふれ、授業に生かすための教材研究の具体を学ぶ 第15回：国語科 学習指導案の作成と模擬授業 科目修得試験			
スクーリングでの学修 ○国語科における「目標」や「内容」を考察する。 ○学習内容の改善・充実について考察する。 ○国語科の学習指導案の基本的な形について考察する。模擬授業や指導案検討を中心に授業力向上を目指す。			
テキスト (1) 文部科学省『小学校学習指導要領解説 国語編』平成29年6月 978-4-491-03462-1 (2) ダウンロード版教科書 (3) 文部科学省 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について			
参考書・参考資料等 (1) 『平成29年版 学習指導要領改訂のポイント 国語』 明治図書 978-4-18-330316-5 (2) 水戸部 修治『小学校 新学習指導要領 国語の授業づくり』明治図書 978-4-18-251812-6			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			